

「7月の自治会だより」です。

平和町自治会だより

令和元年7月



右上は、ホームページ<http://heiwa.weblog.fc>でQRコードです。

1. いろいろな知識

※認知症の取り扱い

行動: 車を運転して交通事故を起こす

正体 交通事故の発生率は、80歳以上も20歳前半もほぼ一緒

- ・ 10代の交通事故の方が多く、80歳以上の2倍近い
- ・ 死亡事故を起こした高齢者のうち、認知症の疑いがあった人は8%程度
- ・ 認知症といえども他の人と同じく、事故は軽いものの方が多い
- ・ 運転を止めると認知症の発生率が上がる
- ・ 高齢者の事故の原因は、体の機能全般というより、視機能と認知機能が大きくかわる
- ・ 認知機能が衰えると視覚が衰え、視覚が衰えると認知機能が衰える
- ・ 視覚と交通事故は、そこまで関連性がない
- ・ 視覚よりも有効視野が、交通事故に関係する
- ・ 有効視野は、認知機能が衰えると狭くなる
- ・ 有効視野は「疲労している時」「眠い時」「お酒を飲んでいる時」などを狭くなる
- ・ 高齢者の交通事故は、信号無視と交差点での事故が多い
- ・ 高齢者の有効視野は上が狭いため、信号に気づきにくい
- ・ 高齢者はまぶしさがとても苦手

◎周りの人がしがちな間違い

- ・ 老人に車の運転は危険だと思って、運転を止めさせたり、免許を取り上げてしまう

◎周りの人がすべき正しい行動

- ・ 運転アシストの車の購入を検討する ※アシスト→『名』（assist「助ける」の意）

「運転支援システム」はドライバーの不注意による衝突事故を回避するように促してくれたり運転操作自体のフォローをしてくれるシステムのことで、衝突しそうになったときにブレーキがかかることで衝突被害を軽減してくれる「衝突被害軽減ブレーキ」や、車線からはみ出して運転しているときに自動に車線の中央に促してくれる「ステアリング（ハンドル）支援機能」など様々な種類のものがあります。

◎自分がこうならないために

- ・ やたらと遠くまで運転しない
- ・ スポーツをする
- ・ 本を使って有効視野を広げる訓練をする
- ・ ブルーライトカットや遮光のメガネをかける
- ・ 75歳以上の免許所得者に義務付けられている認知機能の検査の内容を、事前に知っておく